

砂浜植物の生活にとって、もっとも決定的な影響を与えているのは、たえず風によって移動する砂です。生育の基盤である土地が動くということは、もっともきびしい制限要因となります。



図-10 線上測定法

たとえば、ある植物が砂丘の上で芽生えたとしても、砂の移動で根が露出したり、あるいは砂にうずまったりして、生活を続けることはできません。ただわずかに、コウボウムギ・ハマニガナのよ
ような数種類の植物だけが、たえず砂が動く砂丘の上で生活できます。それは、砂にうずまるたびにコウボウムギの地下茎は、さらに地表までのびて新しい葉を出すからです。

砂浜の植物が立地条件によって海岸線から内陸にむかって帯状に移りかわるようすを調べるには、図-10 のような、線状測定法を用いると便利です。

この方法は、巻尺や1 m おきに目盛をうった縄(間縄として市販)を用いて、1本の線上に現われる植物名を記録していくものです。



図-11 コウボウムギの群落(いわき市新舞子浜)